

神尾 昇 (指揮&演出)

香川県小豆島出身。東京藝術大学音楽学部声楽科卒業。同大学指揮科に再入学、首席で卒業。声楽を鈴木寛一、指揮を故佐藤功太郎氏にそれぞれ師事する。同大学では、新設された奏楽堂にて初の卒業式を記念する、オペレッタ「こうもり」の総監督をつとめた。コンサート指揮者としては、これまでに徳島交響楽団、沼津交響楽団、柏交響楽団などのアマチュアオーケストラの指揮、指導、東京ユニバーサルフィルハーモニー管弦楽団のニューイヤーコンサートの指揮などを行っている。オペラ指揮者としては LIP-OPERA、愛媛県民オペラ、芸大オペラプロジェクト、オペラ徳島の指揮者を歴任。また、この幾つかでは演出も担当。上野の森オペラ座を主宰し、自ら日本語訳を制作、「オペラをより身近に」をモットーに指揮科在学当初から活動を始める。合唱指揮者としては東京トロイカ合唱団団員、副指揮者。丸の内合唱団、東京男声合唱団などをはじめ 10 団体以上の指揮、指導。2010 年 1 月に杉並公会堂にて一同を会し「第一回神尾合唱祭」を催した。青年団協議会・全国青年大会合唱部門の審査員。声楽家としても男声カルテット「カインズ」のメンバーとして積極的な活動を行っている。2010 年夏にシュェーベルト「冬の旅」全曲リサイタルも開催した。2005 年 5 月から 6 月にかけてヨーロッパで行われた「第一回ベラ・バルトーク国際オペラ指揮者コンクール」において最終ラウンドを待たずして、「審査員特別賞」を受賞。受賞者披露のガラコンサート「カルメン」では終幕を指揮し、その模様は国営放送でも放送された。

鈴木 美苗(ピアニスト)

東京都生まれ。'00年第6回全日本ベストプレイヤーズコンテストにてピアノ部門優秀賞受賞。

・02年東邦音楽大学音楽学部音楽学科1年次在学中、同大学管弦楽団とグリーグのピアノ協奏曲を共演。

’05年第126回定期研究発表演奏会にソロ出演。

’06年同大学ピアノ専攻を首席で卒業後、日本ピアノ調律師協会主催第7回新人演奏会、読売新聞社主催第76回新人演奏会に出演。

’07年上福岡フィルハーモニー管弦楽団とモーツァルトのピアノ協奏曲第21番を共演。

また、大学在学中より市民オペラや合唱団の伴奏等に積極的に取り組み、現在は主に声楽伴奏者として活動中。

’11年度より東邦音楽大学ピアノ伴奏研究員。

ごあいさつ

コッラ・ヴォーチェは指導者とピアニストを除き、全員アマチュアによるオペラやオペレッタを勉強する団体です。

当初はソロの曲や二重唱等を中心とした発表会を開催していましたが、2009年から抜粋ではありますが一つの演目を手掛けるようになりました。ただし一つの役を二人で前半と後半に分けて演じておりました。今回のW. A. MOZART「魔笛」ではほぼ一人が一役を歌い演じることになり、それぞれが自分の課題と正面から取り組み、格闘しています。これまで私たちは神尾 昇氏の指揮と演出で「オペラやオペレッタを日本語で楽しく」歌い、踊り、演じてきました。そして今回も「肩肘の張らない、笑える魔笛」を目指したいと思います。

2011年3月11日に起きた東日本大震災は、私たちの常識を根幹から揺さぶり、ものの見方を変えてしまいました。私はまるで悪夢のような津波の映像を見ながら、こういう時こそ歌の仲間とともに、歌で被災した方々のお役にたてないかと願っておりましたが、様々な方々のお助けにより10月9日には日本聖公会月島聖公会でのチャリティーコンサートに参加し、支援のための働きにかかわることができたことは喜びでした。

魔笛には三人一組のグループがたくさん出てきます。そうしてまるでロールプレイングゲームのように魔法の笛やグロックンシュピールというアイテムを与えられ戦ってゆきます。

どうか最後には私たちも、そしてあなたにも「勝利の栄冠」が飾られますように！ Colla Voce 代表 元津 毅



【チケットお問い合わせ】

電話：090-6343-2711

E mail:collavoce info@yahoo.co.jp

ホームページ：<http://www006.upp.so-net.ne.jp/collavoce/>

交通案内 (地下鉄) 大江戸線「牛込神楽坂」A1出口より徒歩0分
東西線「神楽坂」2番出口より徒歩10分
(都バス) 飯62系統 小滝橋車庫前～都営飯田橋駅 または
飯63系統 小滝橋車庫前～新橋駅「牛込北町」下車

住所 新宿区笹管町15番地